

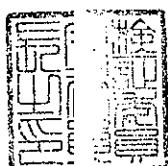
動物実験に関する検証結果報告書

（東邦大学）

動物実験に関する相互検証プログラム

（国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会）

平成 23 年 1 月 13 日



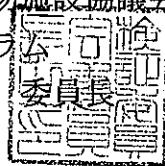
検証結果報告書（東邦大学）

平成 23 年 1 月 13 日

東邦大学学長
青木 繼穂 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会
動物実験に関する相互検証プログラム
検証委員会



対象機関：東邦大学
申請年月日：平成 22 年 6 月 17 日
訪問調査年月日：平成 22 年 10 月 28 日
調査員：有川 二郎（北海道大学）、三浦 竜一（東京大学）

検証の総評

医学部、薬学部および理学部を擁する自然科学系の総合大学として、それらの教育や研究に必要な動物実験の実施体制が十分に整っている。実験動物の飼養保管は 3 学部、4 力所の中核施設内のみで行われている。統一した規程、動物実験委員会のもと、整合性のある管理・実施が行われている。教育訓練の実施状況や動物実験計画書の審査も適正であり、これらの点は非常に高く評価できる。

これまで、動物実験の実施状況や点検・評価の内容について情報公開が実施されていないが、今回の検証をもとに、積極的な情報公開への努力を期待する。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「東邦大学動物実験管理規程」が定められている。その内容は文科省基本指針に適合しており、動物実験に関する機関内規程の整備状況について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験委員会は、動物実験等に関して優れた識見を有する者、および、実験動物に関して優れた識見を有する者、その他の学識経験を有する者の合計 13 名の委員により構成されており基本指針に適合している。よって、動物実験委員会の整備状況について、自己点検・評価は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見

基本的に問題を認めない。審査は一部持ち回り委員会で実施されるが、持ち回り委員会についての内規等が整備されていない。審査について適正な議事録が作成されており実施に問題はないが、

検証結果報告書（東邦大学）

今後、内規等の整備について検討されたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の実施体制が、基本指針に則した規程等によって定められており、自己点検・評価は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

東邦大学遺伝子組換え実験安全管理規程及び細則、東邦大学病原体等安全管理規程、東邦大学放射線障害予防規程、東邦大学動物実験取扱規程、実験動物センター利用規程内規および災害対策マニュアルが定められ、安全管理を要する動物実験の実施体制が整備されている。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

検証結果報告書（東邦大学）

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設は中核施設である医学部大森実験動物センターの他に医学部大橋実験動物センター、薬学部実験動物センター及び理学部動物実験施設の4カ所に設置されているが、それぞれの地区での動物実験は、当該地区での施設で行われており、十分な管理体制がとられている。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価は妥当な内容と判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験委員会は、上記4施設での動物実験実施や計画の審査において、概ね1年に1回開催される合同委員会と持ち回り委員会によって審議、審査が行われている。審査・審議内容は、持ち回り委員会も含め克明に記載されていた。合同委員会と持ち回り委員会が効果的に機能しており、4カ所に分散している施設間での一致した指導や助言を十分に行っていることが把握できた。すなわち、動物実験委員会の活動について、自己点検・評価は妥当な内容と判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。

検証結果報告書（東邦大学）

- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験計画書一覧、動物実験結果報告書ならびに集計結果報告書が整備され、動物実験の実施状況について、自己点検・評価は妥当な内容であると判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

東邦大学から予め提出された自己点検・評価報告書では、実施結果報告として、掲載論文名だけでなく論文別刷自体の提出も徹底したいとの報告があった。論文別刷の提出は不可欠なものとは考えないが、より確実な実施状況の把握を目指している体制を評価したい。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理上、問題となる事例や事故報告はなく、安全に動物実験が実施されている。よって、安全管理を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の内容は妥当なものであると判断する。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

検証結果報告書（東邦大学）

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

実験動物の飼養保管は、4カ所に分散しているものの、それぞれの地区での中核施設として当該施設のみで動物実験が飼養保管マニュアルに沿って行われている。実験動物の入手先や飼育歴等の記録も適正であり実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

それぞれの施設において適正な維持管理がなされており、特に問題がみられる部分はない。施設の維持管理状況について、自己点検・評価は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験責任者、動物実験実施者及び飼養者に関して、動物実験委員会が講習会を実施している。講習会資料、実施記録、参加者一覧の資料が整備されており、基本指針に則した教育訓練が実施されていると判断される。開催は1年に1回だが、途中参加者のために臨時講習会も適宜実施されており、きめ細かい対応がなされている。よって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

自己点検・評価は、今回の検証で明らかのように、概ね適切に実施されていると判断される。しかし、その内容は公開されておらず、情報公開の実施について今後更なる検討が必要である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

動物実験関連規程等、自己点検・評価報告書、外部検証結果等をホームページ上にアップするなどして、基本指針に定める情報公開を行うように一層の努力を期待する。

検証結果報告書（東邦大学）

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

意見

該当なし。